

会 議 録

会 議 名	令和5年度 総合教育会議	
開 催 日 時	令和5年12月20日(水) 午後1時30分から午後2時15分まで	
開 催 場 所	栄町役場2階第4会議室	
出 席 者 氏 名	委 員	橋 本 浩 (栄町長) 藤 ケ 崎 功 (栄町教育委員会教育長) 中 島 宣 行 (栄町教育委員会教育長職務代理者) 大久保 雅従 (栄町教育委員会委員) 濱 田 香 奈 (栄町教育委員会委員) 安 永 順 子 (栄町教育委員会委員)
	職 員 職 氏 名 (事 務 局)	勝 田 博 之 (栄町教育委員会教育次長) 大 木 正 義 (栄町教育委員会教育課長補佐)
	(説 明 員)	西 宮 信 吾 (栄町教育委員会教育課長)
	町 職 員	稲 葉 正 和 (栄町教育委員会生涯学習課長) 由 井 茂 (栄町教育委員会学校給食センター所長)
欠 席 委 員 (者) 氏 名	なし	
会 議 日 程	議 題 1. 教員アシスタント職員活用事業について	
会 議 の 公 開 又 は 非 公 開 の 別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 原則非公開 <input type="checkbox"/> 全部非公開 <input type="checkbox"/> 一部非公開	
会 議 を 公 開 し な い 理 由		
傍 聴 人 の 数	0 人	

会議等の内容(発言者、発言内容、会議等の経過、決定事項等)

<p>教育次長 (進行)</p>	<p>(開会)</p> <p>本日は橋本町長から総合教育会議の招集がありましたので、ここに開催いたします。はじめに町長よりご挨拶をお願いします。</p>
<p>橋本町長</p>	<p>改めましてこんにちは。町長の橋本です。本日は、総合教育会議ということで招集をさせていただきましたところ、お忙しい中にも関わらず委員の皆さまにはお集まりいただきまして、誠に感謝を申し上げます。ありがとうございます。</p> <p>さて、私自身も10月に各4小学校の6年生を対象にして、給食懇談会を開催させていただきました。企画した意図というのは本当に子供たちと、子ども模擬議会のように緊張する形式的な場面ではなくて、砕けた形で、子供たちの考えであったり、今思っていることであったりというのを、ざっくばらんに聞く機会が欲しいと考えていたところ、教育長をはじめ教育委員会の皆さんにご協力をいただいて、そういうような形で設けさせていただきました。本当に子供たちらしい素朴な疑問から、例えば「何で町長になったんですか。」とか、「好きな食べ物は何ですか。」というところから、中には「栄町のグッズをもう少し販売したらどうなのか。」とか、他にも「あその場所が危険になっているんだけど、どうなっているのか。」とか、そんな話もあって、非常に参考になる、子供たちなりの視点も、意見も多くありました。それ全部はなかなかできる、できない、というのがあると思いますけれども、ただ子供たちの素朴な目線というのを大事にして、そういったことも町づくりに活かしていければいいなと思いました。</p> <p>さて、今日は『教員アシスタント職員活用事業』をテーマといたしまして、皆さんと協議をしてみたいと思いますので、皆さんの率直なご意見を賜りたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。</p>
<p>教育次長 (進行)</p>	<p>ありがとうございました。それでは、本日の議事に入らせていただきます。栄町総合教育会議運営要綱第5条第1項の規定により、町長が議長を務めることになっておりますが、同要綱の第5条第2項の規定により、議長である町長よりあらかじめ議事進行の指名を受けておりますので、引き続き、私の方で務めさせていただきます。よろしくお願いいたします。</p> <p>議事1「教員の働き方改革について」、西宮教育課長から概要を説明いたします。</p>
<p>教育課長</p>	<p>それでは私の方から「教員の働き方改革」ということで、概要の方の説明をさせていただきます。皆さまのお手元にあります別添資料の方を開いていただきまして、まず横書きのものからお話をさせていただきますと思います。</p> <p>平成31年1月の中教審の答申では、学校教師が担う業務に係る3分類を示されましたので、そちらをご覧ください。ここには、「基本的には学校以外が担うべき業務」、「学校の業務」、「教師の業務だが負担軽減が可能な業務」とし</p>

	<p>て、3つに分類をしてくれています。とりわけ真ん中の部分の⑧番、部活動については、スポーツ庁と文化庁が力を入れております。まずは休日の部活動に令和8年度からは教員がタッチしないよう部活動の地域移行ができるようにと示されています。</p> <p>こうしたことで進んでまいりましたが、いよいよ教員の志願者が減ってきていることから、本年8月28日に、別紙2のとおり、『教師を取り巻く環境整備について、緊急的に取り組むべき施策』が中教審から提言されております。この中から下段の3(2)、『支援スタッフの配置充実について緊急的に取り組むべき施策』を取り上げられています。栄町では平成30年度から町単費で、教員アシスタント職員活用事業を導入し、教職員が子供と向き合う時間を確保することを目指し、できております。以上簡単ではございますが、教員アシスタント事業の概要説明になります。</p>
<p>教育次長 (進行)</p>	<p>それでは本事業につきましては、藤ヶ崎教育長からご報告をお願いしたいと思っております。教育長お願いいたします。</p>
<p>藤ヶ崎教育長</p>	<p>それでは、今教育課長からありましたように平成30年度から導入してきております、教員アシスタント職員活用事業でございますけれども、5年経過したあと、どういう状況かというご質問にお答えしてまいりたいと思っております。</p> <p>これまで導入した、平成30年度の2月に総合教育会議を招集して意見交換をしたところであります。今回、11月15日に県の教育委員との意見交換会が予定されておりましたので、栄町の取り組みとして報告すべく、10月に町内教育職員に調査したものでございます。こちらパソコンで1台ずつ渡されておりますWEB上でのアンケートでございまして、今文部科学省から紙のアンケート等はやるなどと言われておりますので、WEB上でのアンケートということで、ご了解いただきたいと思います。</p> <p>それでは画面の方を見ていただきたいと思います。まず、導入前後のいずれの時期に栄町に転入してきたかを尋ねました。29年以前が、安食小が約30パーセント、布鎌小が10パーセントというような形で、右側にオレンジ色の棒が出てまいりますので、残りのパーセンテージが29年度以降。こちらが、安食小が7割、30年度以降、導入した後にも入ってきた方々がこれだけ出てきてまいります。ということで、次の活用の方にも行くんですけども、導入初期よりはアシスタント職員のありがたみが少し減っているのかな、ということはあるんですけども、その辺はご理解いただきながら見ていただきたいと思います。</p> <p>二つ目が、職員を活用できているか、という質問をいたしました。YESと答えた方がこれだけいます。安食小は100パーセント活用しているということです。活用できていないという職員が布鎌小で10パーセント。栄中が多くて4割弱くらい。これは、先ほどのグラフで戻しますと、栄中が30年度以降に転入してきた職員がこれだけ多いので、こういうところに繋がっているのかなと、自分なりに思いました。町平均ですと、活用できている、という職員が95パーセント、残り5パーセントが活用できていないという状況でした。活用できていない、という「いいえ」と答えた方たちのご意見としては、一つとして「掲示物作成を中心に仕事をされているアシスタントさんがいるので、別</p>

の仕事をお願いするのが憚れるというようなことだと思います。次に、時々頼めているけれども、どういった仕事内容を頼んでよいのか、迷ってしまう。というような職員もいました。それから、自分が頼みたい時にタイミングがなかなか合わない。これは導入当初もあったんですけども、誰かにお願いしておくとか、あるいは次こういうのをお願いね、というノートを書いておくとか、そういうのが工夫としてあるというお話をしたのですが、後ほど転入されてきた職員にはまだ伝わっていないような感じが読み取れました。それから、異動してきたばかりで人間関係がまだできていないから声をかけづらい。それから、アシスタント職員がいつも忙しそうにしているので頼みづらい。さっきと似ていますが。それから、自分で処理した方が早い、という仕事が多いということ。頼むタイミングがなかなかないという、こういった「いいえ」の方の意見でした。

三つ目として、アシスタント職員がいて子供と向き合う時間が一日にどのくらいありますか、という質問です。こちら去年度と同じ質問を今学務班でやっておりますので、ご理解ください。平成30年度はこのようなグラフであります。一日あたりに、安食小の場合40分ぐらいは子供と向き合う時間があるよ、ということですね。それが令和5年度、安食小は40分と変わらないんですが、布鎌小は増えました。安食台小が飛躍的に増えております。町全体ではこのように前回より増えているということでもあります。

四つ目として、教員アシスタント職員がいて教材研究の時間が一日にどのくらい増えていますか、という質問に対してですね。これも一日当たりの増えた時間なんですけれども、安食小が平成30年度が30分。これが令和5年度ですと、若干伸びていますね。布鎌小も延びています。安食台がやはり飛躍的に延びています。町平均でも多少延びています。

五つ目が、アシスタント職員がいて事務をとる時間がどのくらい減ったかということで、教える事だけでなく、色んな調査もの等もありますので、そういったものがどのくらい減ってきているのかということで、結果事務時間は平成30年度から比べて令和5年度は、栄中以外は増えているということです。

六つ目が、一番大事な、「退勤時間がどのくらい早まったか」ということですね。平成30年度は安食小40分早まったということですね。令和5年度はどうかというと、竜角寺台小は増えました。早く帰れるようになった。町平均では若干減っております。中学校はやはり活用がちょっと伸びていないので、このような形になっております。勤務時間を意識しているかということなんですけれども、それぞれの学校で、安食小約100パーセントから少し切るくらいです。布鎌小は100パーセントで、全員が意識しているということでもあります。令和5年度は、校長先生、教頭先生のご指導の賜物だと思うのですが、小学校は全員の教員が勤務時間を意識して働いている。中学校は8割方。町全体では多少上がってきています。

八つ目は、「教員アシスタント職員に効果的に依頼する業務は何ですか」ということを担任の先生方に聞いたところ、平成30年度は印刷配布だとか、集金などでした。その他、ミニテストを印刷して配ったり、役所から届いた文書を配布したりするようなことを頼めてよかったということでした。それから集金事務も小銭で来ますので、それを集金袋から出して全部まとめ、誰からいくらもらったか、それでその集めた額を例えば桑原書店さんにワークテスト代と

して、いくらと振り分けて渡してと結構煩瑣でして、こういったのがよかった。それから、簡単な採点ですね。ミニテストの丸付等をしてもらった。あるいはアンケート等が来た時の書類の整理、こういったことですね。令和5年度はどうかといいますと、印刷配布、集金を依頼することが増えた。それほど業務には差はありませんでした。

意見として書いてもらったところ、「宿題の丸付や直しの丸付をやってもらうことで、放課後の時間が楽になったし、その日のうちに返せるから直しもしやすいしで助かります。」というご意見がありました。続いて、「もっとできることを増やしていただければ、もっと子供と向き合う時間が増えたり、自己研鑽に使う時間が増え、勤務時間超過もなくなるのではないかと思います。」

九つ目が、「教員アシスタント職員の配置希望があるかどうか」を伺いました。平成30年度、どの学校も100パーセント配置して欲しいということでした。今回どうかというと、やはり同じ結果でした。

考察として、私なりにまとめてみたところ、派遣初年度にくらべ、派遣される教員アシスタント職員が進んで担任を支援するようになってきているんじゃないかと思います。

二つ目として、担任以外の専科教諭、そして教頭の超過勤務時間が多いため、優先順を考えていきたいなと思いました。町内にも、教頭先生で100時間を超えたような職員がいらっしゃるようで、この前産業医さんとの面接でかなり指導があったようですので、その学校の校長先生をお呼びして、この教員アシスタント職員を教頭先生にどんどん使うように指導して欲しいということをお伝えしました。教頭先生は担任の先生のことを思って、なかなか要望しづらいのではないかなと思いますので、そういったところもこれから注意をしていきたいと思えます。

三つ目が、平成29年度以前の多くが転出してメリットが捉えづらくなった。先ほども申し上げた通りです。

四つ目が、中学校では口座引き落としが既に実施されております。小学校は教員アシスタント職員に教材費や学級費等の集金事務を担ってもらっているために、担任は現金を扱う手間がなくなったんですけども、文科省では口座引き落としをどんどんしなさい、ということで、今までの集金業務をなくしてあげれば違うことにも使えるんじゃないかと思って、小学校の校長先生には郵便局の口座を作るように手立てを、郵便局長さん方と考えております。郵便局でも、一度に650人の口座を作りにこられては困るということですので、分散して安食三局と小林の郵便局と八生の郵便局等にも協力依頼して、来年の9月には完全に口座引き落としにしていきたいというところで、今進んでおります。そうしますと、アシスタント職員さんも別の業務になるということで、今考えております。このあとまた司会進行さんの方でよろしくお願ひしたいと思います。

教育次長
(進行)

教育長、ご説明ありがとうございました。

それでは、教育長からのご説明が終わりましたので、教育委員さんからお一人ずつご意見、ご感想等を言っていただければと思います。始めに安永委員、いかがでしょうか。

安永委員	私が知っている方はみなさん竜角寺台小でアシスタントさんをなさっていて、それまではお家にいらしていたんですけども、それというのは人材登録等をなされているのでしょうか。
藤ヶ崎教育長	特になくて、穴があいた時に色々な伝手を使って探しています。
安永委員	結構周りには、教員を定年されている方とかいらっしやるんですけども、そういった方々の人材登録などをして、そういう方たちからアシスタントに携わっていきけるような方法というのはないのでしょうか。
藤ヶ崎教育長	それはいいかもしれませんね。
安永委員	あてを伝って探すまでに時間がかかるというのがありますし、まだ皆さんバリバリ現役で働けるような方たちなので、もしそういう人材を登録してそこからという事が出来るのであれば、そういう方法も一つ考えていただくとよいのかなと思ったりもしますけれども。
藤ヶ崎教育長	教員免許をお持ちの方でしたら、アシスタント職員ではなくて、産休・育休中の先生の代わりが足りなくて、安食台小は今2人足りないもんですから、ぜひお名前等教えていただければ、お願いしたいと思いますので。先日、青い麦の子の時も、安食台小は特別支援学級の担任が育休中なものですから、教頭先生が入っていたりして大変なものですから、ぜひよろしくをお願いします。
安永委員	結構いらっしやると思いますよ。
藤ヶ崎教育長	今講師は年齢制限なくなりましたので。あと、教員免許制度も発展的解消で更新制もなくなりましたので、一度とったものはずっと使える。
安永委員	一度ソフトボールというのに一人今講師がよい、という方がいます。採用されるよりも講師としての方が気分的にも楽で、私は採用試験は受けないなどと言っております。そういうのは可能なんでしょうか。
藤ヶ崎教育長	それは可能でございます。責任はあれですけども、給料安いですからね。
安永委員	部活の面倒はしっかりみているんですよ。もったいないから受けなさいよ、と言っても、やっぱり今そういう考えの方が多いのでしょうか。
橋本町長	それは全体的なものと言えますね。社会的に今あまり偉く、というか、ポジションにつきたくないという。民間でもそうだし、僕らの行政でもありますし、そういうことは今全体として起こってきていることなのかな。
安永委員	社会的傾向なんですか。
橋本町長	はい。私はここでよいとか、そういうのが進んできています。

安永委員	もったいないですよ。そういう資格を持って大学を出ているのに。何で、と言うのだけれども、いいの。今のままで、と言うんですよ。それ以上私も突っ込めないし。
藤ヶ崎教育長	後ほどちょっとお名前と連絡先だけ教えていただければ。
安永委員	プッシュしてください。あとで。栄中におりますので。
藤ヶ崎教育長	ありがとうございます。
安永委員	わかると思います。ソフトボールを面倒みている。
藤ヶ崎教育長	瀬尾さん講師やったださっている。受けないんですか。
安永委員	もったいないですよ。優秀な子ですし。
藤ヶ崎教育長	パソコンなんかお得意だというお話聞きましたから。
安永委員	プッシュしてください。よろしくお願いします。
教育次長 (進行)	ありがとうございました。次に濱田委員の方からよろしくお願いします。
濱田委員	私は今の教育長の説明の中で気になったのが、教員アシスタント職員に依頼する効果的な業務のその他の内容、その他が令和5年増えているのですが、こちら具体的に内容はわかりますか。どういうことが。配布とか印刷、集金とかじゃない別の何か。何が必要なのかという事が、ふと気になってしまいました。
藤ヶ崎教育長	特にその他というのは、こちらでも把握は出来ていないんですけれども。
濱田委員	そうなんです。先生たちの中ではこういう配布とかではなくて、もっと違うことでアシスタント職員にやって欲しいジョブがあると。
藤ヶ崎教育長	植木の伐採等は出ていました。私共としては、何でもよいから先生方の為になって欲しいと。担任の先生は植木の伐採ほとんどやらないものですから、教頭先生の代わりになってきたと言わんところはあります。
安永委員	植樹委員という制度はないんですか。
藤ヶ崎教育長	それぞれの学校でありますけれども、ただ月に一回とかはないです。学期に一回程度ですかね。

安永委員	剪定の時期とかですよ。
濱田委員	用務員さんとかはそういう業務はされない。
藤ヶ崎教育長	お花を植えたり、水やりはしてくださっていますね。館山市は用務員さんを男性の方としています。それは私も今後いいなとも思ったりしております。千葉市なんかも用務員さん、男性の方なんです。これ正規なんですけれども、早稲田大学を出た方が来ていて、使い勝手はよいかと思います。何しろ雑用が学校にはかなりあるんですよ。現時点ではその他についてはこのくらいしか把握しておりません。
濱田委員	わかりました。授業に関係することではなくて、そういったことなんですよ。
教育次長 (進行)	大久保委員、お願いします。
大久保委員	実は教員アシスタント制度が始まった時に、誰か紹介して欲しいと言われて紹介したんですよ。2年くらいで辞めてしまったんですよ。電話がかかって来て、もういいかなということで、他の学校で英語の先生をやっていた優秀な人だったんですけども。だいたい平均どのくらいの期間アシスタント職員をやっているのか、もしわかれば。ずっとやっている人もいるし、1年でもう2度とやりたくないよという人も。この先生は家庭の事情もあったんですけど、「もう少しあと2年くらいどうだ。」と言ったんですけども、「もう2年やりましたから。」ということで。きっと探す方は大変だったと思いますが、今どうなのでしょう。だいたい2年くらいで辞める人が多いんですか。
藤ヶ崎教育長	意外と続いている方が多いです。
教育課長	はい。継続してくださっています。若い方も随分多いので。
大久保委員	一番若い方というのは何歳くらいですか。20代、30代くらいの方もいらっしゃるんですか。
藤ヶ崎教育長	はい。20代いますよね。
大久保委員	はい、わかりました。だいたいは教員終わった人が多いんですか。そうでもないですか。
藤ヶ崎教育長	何もない方もいらっしゃいますよね。時給が1,020円くらいですから。一番安い時給。会計年度任用職員の最低のところですので、大変なことは大変だと思います。
安永委員	町の財政として、どのくらいまで雇えるんですか。

橋本町長	<p>今、定員で何人までと区切ってやっている訳ではないです。なので、例えば先ほどの、僕が気付いたところと言えば栄中学校で、ほとんどの小学校ではこの教員アシスタントの活用有効性が先生たちも助かっているということでしたが、栄中学校でも助かっているんだけど、いわゆる勤務時間の減少だとかそういったことには。原因は教育長の方からあったように、おそらく多くの新しい先生方が入ってくることによって頼みづらいつか、そういったような原因もあると思うんですよね。ただそういうところで、もしその原因をもうちょっと探って、アシスタントの業務が必要であれば。これは人数の問題だとか、そういったことをしっかりと調べていただければな、と思いますけれども。</p> <p>例えば教員が、そうではなくて今まで頼みづらかったんだよとか、そういうことであれば、もっと頼みやすいような雰囲気とか環境を作らなければならぬ等の課題となってくるでしょうし、そこは調べていただいて、特別何人までとやっていう形でやっている訳ではないです。</p>
藤ヶ崎教育長	<p>県内でもこういった制度をやってくださっているのは、野田市とうちくらいなのではないかなと思います。あと県で、スクールサポートスタッフ（SSS）を派遣してくれているんですね。うちよりは遅いんですけど、これは文部科学省が配慮して、働き方改革の先程の大きな3（2）の支援スタッフの配置充実の中で、千葉県ではある程度毎年上乘せしていただいて、今現在5小中学校のうち布鎌小以外の4校は配置されているんですね。ただ、ここだけの話、茨城県はそれはやっていないと。知事さんが絶対そんなことさせるなというふうに、チラッと聞いたところによると。千葉県は増えてやってくれています。ただ、文部科学省がよくやる手は、一旦制度を下ろすんですが、三年くらいで引いちゃうんですね。それであとは地元でやるようにと、汚いお役所なものですから。</p>
橋本町長	<p>本当、困ってしまって、始めたのはよいのだけれども、最初は少し予算付けるけど、継続して、特に教育環境を充実させていくというのは、継続的にやらなきゃいけないものですから、途中で辞めるという訳には、やはり一回始めてというのは、責任が重い訳ですよ。現場は。ですが途中でそれは打ち切りと言われても、言いだすだけ言い出してそれをちゃんとどういう形かでも継続できることを、しっかり国としても言い出したんだから、責任持ってもらいたいという思いは、教育長を始め教育現場、私もそうですし、強く持っていると思います。</p>
藤ヶ崎教育長	<p>小泉純一郎さんの時は『骨太の方針』とかなんかを掲げて、今まで義務教育費国庫負担が2分の1だったんですが、そこから3分の1に減らされまして、それでそれぞれの県の教員の給与が低くなってきているし、裕福な東京都なんかは大盤振る舞いですが、地方なんかはまるきりダメですね。毎年義務教育国庫負担金を2分の1に戻せ、戻せと言っているんですけど、財務省は一回下ろしたものをね。</p>
安永委員	<p>学校から、アシスタントの要請がある訳ですね。</p>

藤ヶ崎教育長	こちらで人選して。もともとは時給1,250円ということで、教員免許を持っている方を選ぼうとしたようなんですけれども、そういった方はいなくて、それで安くなったという話は聞いております。その当時から免許を持っている方もいなかった。
濱田委員	ちょっと前から、安食小では『丸付ボランティア』の募集を、マチコミでメールがきて、ボランティアで最近やっているみたいなんですけれども、他の学校とかはそういうのをあまり聞かないんです。安食小はサポートスタッフが忙し過ぎて丸付に手が回らなくなっちゃったから、ボランティアの話が出たのかなと感じてしまったんですけれども、どうなのでしょう。そのスクールサポートスタッフの方の忙しさというか業務で、その方ばかり負担がいつちゃうのは申し訳ないなど。
藤ヶ崎教育長	それはあると思いますね。今度、こっちやって、あっちやって、というようになってしまうと大変でしょうし。今の丸付について、竜角寺台小は前から結構やったださっているんです。地域の方がお見えになって、やったださっているんですね。
橋本町長	竜角寺台小は結構昔から学校支援事業というのを立ち上げてくださっていて、安食台小とか布鎌小とか安食小は、ふれあい推進委員という形で、そこまで丸付をすとかはやっていないんですけれども、竜角寺台小なんかだとそういうところまでやってくれたりとか、学校側と協議をして先生方も負担軽減に繋がるということで、結構昔からやられています。
教育次長 (進行)	中島委員、ご意見等どうでしょうか。
中島委員	そうすると、今は布鎌小以外は県教委のSSSと、それから栄町単独の教員アシスタント職員、両方いる訳ですね。
藤ヶ崎教育長	はい、両方います。
中島委員	では随分助かっているように思いますけれども。やっぱり、各個人の能力、あるいは特徴みたいなものが各学校によって違いはありますでしょうか。
藤ヶ崎教育長	そうですね。若年の女性ですとイラストを描いてくれたり、環境整備等で活用できているというような話を聞きますけれども。
中島委員	そうですね。これで結構です。
教育次長 (進行)	皆さんどうでしょうか。その他にご意見等あればいただければと思います。

濱田委員	一つよいですか。口座引き落としのことなんですけれども、栄中は毎月同じ額が引き落としなんですけど、小学校は月やクラスによって金額がバラバラなので、逆にどうなのかなという素朴な疑問をもちました。余計に難しくないのかなとも思いました。
藤ヶ崎教育長	<p>中学校は昔から口座引き落としでやってくれていまして、定額を入れるような形なんですよね。それで3年間で卒業積み立て金だとか色々なものを含めて、残った額をお返しする等しているんですね。</p> <p>小学校は毎月集金袋にいくらと、ワークテストが270円と何とかとか、なるべく小銭が入らないように計算してやるんですけども、それでもぴったり1,000円とかはあり得ないですから。昔は小銭も業者がそれを郵便局などで両替していたんですけども、今その小銭の両替がお金がかかるみたいで。今度その郵便局のシステムですと業者への振り込みも学校でWEB上のできるという訳ですから、小銭を扱う手間もなくなるということですね。</p>
濱田委員	数字を入れて、数字が動くだけみたいな感じですかね。
藤ヶ崎教育長	いくら集めるというのは校長先生のご判断なものですから、こちらでは何とも言えませんが。
濱田委員	わかりました。
大久保委員	それに関連して、中学校でなぜ進んだかという、まずやりやすい。三年間というスタンスで修学旅行など行事がだいたい決まっていますので。給食費と連動もしているんですけども。もう一つが生徒指導上で朝練があるんですが、朝練でよくお金がなくなるんですよ。私も若いころ集金したんですけども、朝練中に紛失というか盗まれてしまったりとか、かなり高額なお金が紛失し、授業をやらないで一日取り調べなどをやったということがありました。調べたら、結局家の人が袋に入れるのを忘れてしまったということもあって。よかったですけれども、やはり盗まれるとかそういうことがあって、どうしても口座でと。ただ、小学校と中学校はかなり違いますので、今濱田委員が言ったように難しい部分もあるのかなとも思いますけれども。一番よいのは口座でやると教員の負担もないし、親御さんの負担も楽になるかなと思うので、本当はそっちにいつてもらいたいなと思いますけれども。
藤ヶ崎教育長	栄中学校でやったださっていますので、小学校も入学の時に一つ作っていただければ、そのままずっと9年間使っていただけますので。
濱田委員	中学校になったら必ず子供の名前で口座を作ってください、という通知が来ますので、その前に作っちゃえばそれでおしまいですしね。
安永委員	そこに一定の金額を入れておけばよいということね。
藤ヶ崎教育長	郵便局は口座引き落とし料が10円なんです。私向台小で給食費のことやっ

	<p>たんですけれども、千葉銀行だとその当時103円だとか、あるいは京葉銀行だといくらだとか、どんどん上がってきているんですよね。</p>
橋本町長	<p>上がっていますよね。</p>
藤ヶ崎教育町	<p>どこでも郵便局だと思うんですけれどもね。千葉銀行にお勤めの方はそんなことはしていないかと思えますけれども。</p>
大久保委員	<p>それで問題になって、千葉銀行は絶対に下げないですよ。農協とか郵便局は本当に良心的で安くやってくれるんですけれども、千葉銀行の方はお願いしても「それだったら引き受けません。」と強い感じですよ。あまり儲からないですよ。だから上の方からどうしてもそんなに引き受けなくていいよと言われていたようです。郵便局、農協はどうぞどうぞ、という感じです。ただ千葉銀行の方が口座多いですよ。一般の家庭は、千葉県では。</p>
藤ヶ崎教育長	<p>そのうちPaypayなどでできるようになるかもしれませんが。過渡期なものですから。</p>
教育次長 (進行)	<p>色々ご意見いただきましたけれども、町長から最後をお願いします。</p>
橋本町長	<p>今回皆さんに色々なご意見をいただき、ありがとうございます。私自身も参考にさせていただきます。</p> <p>本当に、この『教員アシスタント活用事業』というのもそうなんですけれども、先生方の負担というのが、他の仕事と比較してもかなり激務というか特化してるような状況になっております。ただ一番危惧するのは、教育長を始め教育課長も教育委員さんもそうですけれども、教員採用試験も本当に少なくなってしまうんですよ。募集と言うか、就職したいという人たちが。やっぱりこういうことは、先生が仕事が大変だというのが改めて認識されているところですし、こういった環境なんかも総合的に、今の現代の若い人たちはそこも重要なパーツとして選んでくるので、重要なところなんだと思います。またその先生に負荷がかかって、精神的に参ってしまったりだとか、本当に辛いような思いをして、というような事例も出てきているのでそういったことはしっかり取り組んで、教員のまずは先生たちの負担を軽減して働きやすい環境を整えることによって、子供たちの充実した教育環境も生まれてくるというふうに思っておりますので、引き続きご支援いただければと思います。ありがとうございました。</p>
教育次長 (進行)	<p>ありがとうございました。</p> <p>その他として、何かありますでしょうか。</p> <p>《質疑》 なし</p>

教育次長 (進行)	なければ本日の総合教育会議はこれもちまして終了とさせていただきます。 (閉会)
--------------	--